

県政経営

基本構想(案)

基本理念

未来を拓く共生社会へ

自律と協働により、人と人、人と自然が調和する共生社会を築き、暮らしの未来、社会の未来を拓く。

将来の姿

<地域の将来の姿>

経済・産業
環境
県土

<暮らしの将来の姿>

健康、働く、住む
学ぶ・育てる、
楽しむ、つながる

戦略

- 人の力を活かす
- 自然の力を活かす
- 地と知の力を活かす

施策

- 暮らし
- 経済・産業
- 環境
- 県土

新しい行政改革の方針(原案)

未来へつなく改革の基本方針

自律的で持続可能な行財政基盤の確立

「地方政府」としての県の役割の発揮
市町とのより適切な連携・協力関係の構築
自律的で持続可能な財政基盤の確立
対話と共感による開かれた県政の推進
スリムな組織体制の構築と県庁力の最大化

取組項目

1. 分権時代を見据えた県の役割の明確化
2. 市町とのより適切な連携・協力関係の構築
3. 持続可能な財政基盤の確立
4. 社会環境の変化や県の役割を踏まえた組織・機構の見直し
5. 県出資法人(外郭団体)の効率的・効果的な経営の促進
6. 対話と共感による開かれた県政の推進
7. 効果的な経営のための県庁力の最大化

新たな財政構造改革プログラム(素案)

財政収支見通し

財政収支見通し(財源不足額)
平成20年度 約400億円
平成21年度 約460億円
平成22年度 約450億円

本県の財政状況は、まさに「非常事態」ともいべき危機的状況

財源不足への対応

1. 道筋を明確にしつつ機動的に対応する
2. 歳入・歳出両面から大胆に取り組む
3. 歳入確保のための取組
4. 歳出の見直し

基本構想の実現に向けた県政運営の考え方

地域主権の自治

「もったいない」の考え方

県政経営の視点